

拠点名称：「フェーズフリーな超しなやか社会」を実現する5D-MaaS共創拠点

代表機関	筑波大学	プロジェクトリーダー	遠藤 靖典 筑波大学システム情報系教授・システム情報工学研究群長
参画機関	防災科学技術研究所 日本電信電話株式会社宇宙環境エネルギー研究所、日本航空株式会社、株式会社ウェザーニューズ、株式会社ACSL、神戸市、神石高原町、瀬戸内町、広島市消防局		

プロジェクトの概要

本拠点では、「人口の減少・高齢者割合の増加・住環境や経済等に起因する格差が社会サービスの不安定化をもたらしている中で、平時から災害時までダイナミックに変化する状況にフェーズフリーに対応し、いついかなる時も1人も取りこぼすことなく、格差に左右されず、全ての人の生命と財産を守り、社会活動を安定に維持することのできる、柔軟でレジリエントな社会」を、ICTを活用して災害・危機に柔軟に対応する「しなやか社会」を超えた「フェーズフリーな超しなやか社会」と定義し、人々をwell-beingに導く「フェーズフリーな超しなやか社会」の実現を目指して、SDG3（すべての人に健康と福祉を）、SDG9（産業と技術革新の基盤をつくろう）、SDG10（人や国の不平等をなくそう）、SDG11（住み続けられるまちづくりを）の課題解決を図る。

そのために、UAVと有人航空機を組み合わせた空のモビリティを確立し、既存の陸・海のモビリティと統合することによってMaaS（Mobility as a Service）を多次元的に発展させた「緯度、経度、高度、実世界の時間、さらに、平時から災害時までをフェーズフリーに予測する未来時間、の5次元空間のMaaS」、すなわち、「3次元空間×実時間の4次元のフィジカルな実空間」と「3次元空間×未来時間の4次元のサイバー上の仮想空間」の2つをパラレルワールドとして並列に扱う「5D-MaaS」の構築を進める。

